

「留学時代の交流の思い出」

キム・テウン



“Welcome walk”

初めまして。私は2016年4月から翌年1月末まで横浜国立大学の世宗大学交換学生プログラムに参加した韓国のキム・テウンと申します。

日本に留学を決めたのは、勉強はもちろん多様な日本文化を経験したいと考えたからです。来日後すぐに、大学と三井V-Netの“Welcome walk”に仲間と参加しました。ボランティアの方々の案内で各国の留学生と桜木町から中華街まで横浜の新旧の名所を一緒に歩きながら、いろんな話ができてとても感動しました。今でも赤レンガ倉庫、開港記念館、大棧橋、山下公園、中華街の記憶が鮮明に思い出されます。その後まもなく伊藤さん(=アナナさん:ご家庭と横国大でのニックネームです)が私の担当パートナーに決まり、以後さまざまな三井V-Netのイベント例えばJAL整備工場、日産自動車工場の見学、着物着付け体験やアナナさん独自の企画(大相撲稽古見学、三井住友海上オーケストラ演奏会、三溪園散策など)に参加して貴重な経験ができて本当に楽しく過ごしました。

そして、毎週の日本語授業と一緒に出席いただき、日本語の勉強と共にいろんなテーマについて話し合いとプレゼンの訓練ができました。日本語を勉強しながら各国の留学生の考えと自分の考えを共有することがとても興味深かったです。留学生活の当初は、有意義な生活ができるか不安でしたが、各国の留学生、世宗の同僚、先生、ボランティアさんのおかげで不安は間もなく消えて、充実した日々を無事に終えることができました。私は幸いソウルの日系企業に就職し、いつか日本で働きたいと思って頑張っています。留学生活は思い出す度に幸せな気分と、肯定的なエネルギーを与えてくれる、私の大学生活の中で忘れられない得難い体験でした。



修了パーティー

交流を通しヘルプしてくださったアナナさんと五年以上過ぎた今も、LINEではありますが交流ができていて、とてもうれしく思います。本当にありがとうございます。コロナの影響は韓国、日本だけではなく全世界がまだまだ安心できませんが、一緒に乗り越えて、再び留学時代の友達や、先生、アナナさんに会いに行きたいです。その時はどうぞ宜しくお願い致します。

2021年9月 中秋の夜 キム・テウン

キム・テウンさんに原稿を依頼したところ快く引き受けてくれました。ほぼ完璧な文章で「てにをは」を二三修正した程度で原文をそのまま提出しました。

Welcome walkの写真で伊藤の隣がテウンさんです。

‘テウン コマッスムニダ’

交流担当パートナー 横浜国大都会
伊藤 明彦(三井住友海上OB)